



「イート通信」の「イート」は「eat」、英語で「食べる」を意味します。「お口からおいしく食べられるように」との思いから、このような名前をつけました。

### イートな話

「あなたには親知らずがあります」と言われたら、どう思いますか？「抜いてもらおう」「いずれ抜かないといけないかな」などと考える方が多いのではないのでしょうか。親知らずを抜くのはとても痛いのに、「親知らず=抜かなくてはいけない」と考える人が多いのは、なんだか不思議な感じがします。

親知らずは、通常、18歳頃はえてきます。しかし現代人はあごが小さいため、はえるためのスペースがなく、骨の中に埋まったままはえてこない（はえてくることができない）人や、一部分だけしかはえてこない人が大多数です。骨の中に埋まったまま、または一部しかはえていないと、歯としての噛むという役割を果たせないため、多くの人は不要なものと考えて、抜こうと思われるのかもしれませんが。しかし親知らずも歯です。例えば他の歯がダメになったとき、ダメになった歯の代わりに親知らずを使えるかもしれません。実際当院にも、ダメになった歯を抜いて、代わりに親知らずを使えるように歯を動かして矯正治療している方がたくさんおられます。

もちろん、親知らずにばい菌が感染してはれてきたり、前の歯を押して歯並びが悪くなりそう、などの症状があれば、抜いた方がよい場合もあります。矯正治療をするために歯を抜く場合があるのと同じです。抜くことのメリットとデメリットを、タイミング（今か10年後か等）も含めて十分に考えることが大切だと私は思います。

藤木辰哉

Q: 歯ブラシの毛が、すぐに開いてきます。強くみがきすぎでしょうか？

A: 歯ブラシの耐久性などに問題があるのかもしれませんが、みがく力が強いのかもかもしれませんね。

歯ブラシの交換は、歯ブラシの種類によっても異なりますが、通常、1か月に1回くらいです。矯正装置が口の中に入っている場合は、装置のまわりをみがくために、歯ブラシの毛先に無理な力がかかったり、みがく時間が長くなったりするため、2週間に1回くらいの交換が必要です。

従って、これよりも極端に短い期間で歯ブラシの毛が開いてくるようであれば、みがく力が強いのかもかもしれません。しかし、歯ブラシの種類や、みがく時間にも影響されますので、気になるようでしたら当院でおたずねください。

土曜日、日曜日、平日の夕方の診療を希望される方が多く、ご希望の日時に予約をお取りできないことが多々あり、申し訳なく思っております。運動会の代休等、平日の午前中や午後の早い時間に来院できる時がありましたら、そのような日を利用してご来院いただければ幸いです。皆様のご協力をお願い申し上げます。



ご意見やご感想等をお寄せください。

当院のスタッフへ直接、またはE-mail(fujiki-orthod@s6.dion.ne.jp)でお願いします。